



JTUC-TOKUSHIMA 連 合 徳 島

vol. 272

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35の1
徳島県労働福祉会館内
tel. 088 (655) 4105
fax. 088 (655) 4113
E-mail info@tokushima.jtuc-rengo.jp
http://tokushima.jtuc-rengo.jp/

発行：日本労働組合総連合会徳島県連合会

編集責任者 島 和 久



当面の日程

- 8月19日(金) 第27期部落解放・人権講座第1講座(県職員会館)
- 8月23日(火) 「クワシノコアゲ応援団! 2016RENGOキャンペーン」(JR徳島駅前)
- 9月2日(金) 第27期部落解放・人権講座第2講座(県職員会館)
- 9月3日(土) 「安全・衛生管理者養成講座」開講式(とくしま県民活動プラザ)

「連合の森」親子サマーキャンプ



親子サマーキャンプには連合徳島組合員とその家族など113人が参加

親子で地球環境の保全と街づくりを考える

連合の森に40本の苗木(コナラ)を植樹

地球環境の保全と環境にやさしい街づくり、地域づくりをめざす連合徳島は、7月30日～7月31日の2日間、美馬市木屋平の中尾山高原・平成荘で、「連合の森」親子サマーキャンプを開催。連合徳島組合員とその家族ら113名(大人61名、子供52名)が参加した。

開会式とオリエンテーションでは、主催者を代表して、連合徳島・森本会長と徳島森林管理署・多田署長が挨拶を交わした。長より挨拶をいただき、行事日程と注意事項が周知された。

昼のイベント①は、徳島森林管理署・堀切さんから「山の紙芝居」のお話。子どもたちは木や水の大切さを興味深く聞き入っていた。昼のイベント②の「木工教室」では、子供たちが徳島森林管理署職員の皆さんの指導のもと、木の実は小枝を接着剤で熱心に取り付け、それぞれが世界にひとつだけの横に立てた。



【写真上】木工教室ではオリジナルの写真立てを作成
【写真中】夕食・交流会はバーベキューを実施
【写真下】親子協力して植樹

とつだけの写真立てを完成させた。夕食のバーベキューは、10班に分かれ、参加者みんなで協力して炭火をおこした。大きな空の下で仲間や家族と食べるお肉や野菜は格別に美味しく、話も盛り上がり大きな笑い声が大空に響き渡った。

二日目は、2006年開設から10年を迎えた「連合の森」へ向かい、連合徳島・島事務局長と徳島森林管理署・多田署長より挨拶いただき、「山の日」制定記念植樹を実施した。植樹での注意事項を、徳島森林管理署・森長総括森林整備官より受けた後、参加者を代表して3本のトチノ木を、連合徳島・島事務局長、徳島県退職者連合・小笠原会長、徳島森林管理署・多田署長が記念植樹。その後、参加者全員で40本のコナラを植えた。子ども達は板札(メッセージボード)に名前と木が大きく育つようにとの願いを書き込み記念樹の横に立てた。

最低賃金の引き上げと地域間の格差是正を
「クラシノソコアゲキャンペーン」を展開

動は7月19日にJR徳島駅前前で開き、各構成組織の組合員、連合徳島事務局から45人が参加し、街頭宣伝・ビラ配りを行った。

連合徳島森本会長は「7月10日投票された第24回参議院選挙において連合徳島が推薦した大西聡弁護士を支援していただきお礼を申し上げます。最低賃金額の改定については、中央最低賃金審議会が引き上げ額の目安をとりまとめ、その結果を踏まえ、各都道府県の最低賃金審議会が議論・決定する仕組みになっている。連合の主張は、最低賃金を引上げ、地域間の格差を是正について重きをおいている。引き上げる額の目標は「誰でも1000円」を掲げ、将来的には、ほかの先進国並みの1500円を現実の目標として考えている」と訴えた。連合徳島

議員ネットワーク代表庄野県議の第24回参議院選挙の支援のお礼あいさつに続き、徳島県中小労働対策本部宮本議長から「ブラック企業の問題と連合労働相談ダイヤルの案内など」を述べた。

連合徳島西部地域協議会主催の夏休みフェスティバルは第17回を迎え、7月24日に池田町津津で開催し、639人(子ども257人)が参加した。

大西茂議長が主催者代表あいさつ、来賓として島和久連合徳島事務局長、天羽強三好市議会議員からあいさつを受けた。

自然と触れ合い、親子・家族でスキップ高める

さつを受けた。イベントとして、アメゴつかみ取りとラッキー抽選会を行った。

アメゴつかみ取りは、未就学児から順番に行った。1～3歳児にはアメゴつかみ取り体験と称し、陸上に準備したタライにアメゴを入れ、つかみ取りを体験してもらい、川の中へ入りアメゴをとる子どもたちはアメゴを端に追い詰め捕獲する子もいれば、なかなか掴めない子もいて、それぞれ大いに楽しんでくれた様子。初めて子どもさんを川遊びに連れてきた保護者の方からは「こういう遊びも



1～3歳児がアメゴつかみ取り体験

いいね」と声をかけていただき、自然と触れ合い楽しむ様子に「親子・家族のスキップを高めてもらおう」という初期の目標に添えた。

ラッキー抽選会では、高井美穂県議にプレゼンターを務めていただき、子どもたちが楽しみにしていた。



楽しい抽選会

いるクワガタやカブトムシの抽選もあり、一番前を陣取り当選番号に耳を傾け、当たれば大きな歓声をあげたり、惜しくも当たらず残念がる子どもさんもあり、と抽選会は今年も大盛り上がりだった。本年は連合徳島からも景品を提供した。

昨年は大雨のため中止となり、今年本番当日が快晴で、夏の暑さを感じ真っ赤に日焼けした顔で元気いっぱいの子どもの声が聞こえる中での開催となった。